

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス はびねす		令和 7年 4月 25日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1	室外のスペースも有効に活用し、活動を分ける必要がある際は広く活用しています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		現状では、適切な配置となっています。	より質の高い支援を提供するため、専門職を積極的に採用を検討しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		平屋の為、バリアフリーではなく現状不便や申し出もないが、今後必要が生じたら検討していく。 その日の予定を絵カード等で視覚掲示で利用児童にわかりやすくし口頭でも説明も行ってあります。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		消毒や、清掃は適切に行い、壊れた物品等はすぐに修繕を行っています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		児童が自由に居場所の選択は行える状況にしているが、安全確認のため職員に申し出るように伝えてあります。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		業務改善の一環で、業務改善日誌の活用や職員会議での改善点などを日々話し合っています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			評価表から意見の集約を行い、業務改善に努めて参ります。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		職員会議の場だけでなく、日常から意見を伝えやすい職場環境づくりに努めています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	第三者による評価は現在の所受けていませんが、行政書士等に業務改善を相談できる体制を整えています。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		どのような研修が良いか職員で話し合い、決定しています。社外研修の際は、研修報告書や実践で取り入れられる事は職員間で共有しています。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		ホームページにアップロードしており、作成に関しても全職員が作成に携わっています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		5領域の視点等を踏まえたアセスメントを行い、それらを網羅した計画案を作成した後、全職員が参加する会議を行い計画を作成しています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		全職員が参加している会議を開催しています。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		支援経過記録によって共有しています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		4	保護者様や関係機関の方からの聞き取りを綿密に行う事や日々の行動観察は注視して行っています。	よりインフォーマルなアセスメントを行えるように、ツールの導入も検討しています。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		放課後児童健全育成事業との併用やのちの移行、地域支援としてゴミ拾いや、家族支援での相談や助言も行き、レスパイトのニーズに対応しています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		活動がチームで行っているので、立案もチームで行っています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		職員だけでなく、利用児童の意見も取り入れています。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		個別活動の時間と、集団活動の時間に別れ支援しています。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	事前に共有できる重要事項等は行っているが、直前に変更になる事も多々あり適宜連携しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		支援終了後に行い、フィードバックや振り返りを行う時間をとっています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		日々の支援の記録をとり、検証や改善につなげPDCAサイクルを回しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		支援経過記録等によって計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	4			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		活動では、チャレンジ活動を取り入れ、児童自身で活動内容を選択し、決定する活動を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		サービス担当者会議前は、利用児童の状況を出席者以外にも確認し参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		関係機関会議等に参加しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		送迎時や電話等により適切に行えるようにしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		利用開始時の会議で、情報共有を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		4		現在の所学校を卒業した児童がいない為、実施したことはないが、卒業の際には情報提供を行える準備はしています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		4		今後利用児童に必要があるとスーパーバイズや助言を受けることも視野に入れています。研修には日時の都合がつく限り参加したい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4		近隣の公園での活動や、地域のイベントに参加するなどの機会を提供しています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		4	日時の都合がつけられず参加できていないが、議事録等には必ず目を通しており広報誌にも目を通してしています。	今後は自立支援協議会に参加していきたいです。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		送迎時や連絡帳等で状況の報告を行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2	情報提供は放課後等デイサービスの内容にとどまらず、相談事がある際は助言を行っています。	ペアレント・トレーニングの必要性が社内会議で話し合われていた所であり、現在研修も含め実施に向け協議を進めています。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		支援プログラムは、ホームページにアップロードしており、どなたでも閲覧できるようにしています。利用者負担はパンフレットや重要事項説明書等にも明記しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		面談やモニタリング時に重点的に確認し、日々の送迎時等にも家族の意向を確認する機会を設けています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		送迎時等に行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4		保護者、きょうだい児が参加できるイベントを開催しています。	今後も保護者、きょうだい児参加できるイベントを計画中です。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		毎月行事予定や通信を発行しています。SNS等も活用して活動概要等を発信しています。	

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		入職時に、守秘義務と個人情報の取り扱いに関する誓約書等でも留意に努めています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		第一言語が日本語以外の方には、適切に翻訳アプリ等も用いて意思の疎通を図るようにしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2	地域活動の一環としてゴミ拾いを実施し、近隣住民が困っていると時折訪ねて来られることもあります。	今後は地域住民の方も参加していただけるような催しを検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		訓練を実施した際には通信やSNS等で発信しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		BCPを策定し見直しを行い、訓練を実施した際には通信やSNS等で発信しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		看護師が事前に確認し、共有するようにしています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		4		職員は安全計画を周知しており、研修や見直しも行っており、今後ホームページにアップロードする事でいつでも確認できるような方法を検討しています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		研修を行いチェックリストを活用しています。さらに、職員のストレスチェックも行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		契約時に利用契約書に明記されています。別途必要がある場合は個別支援計画書にも記載しています。		